

寝屋川流域下水道ポンプ 運転調整について

大阪市

寝屋川流域について

- 寝屋川流域の特徴について
- 寝屋川流域対策水害対策計画

下水道ポンプ 運転調整について

- 下水道ポンプ運転調整の必要性について
- ポンプ運転調整のルールについて

情報発信・情報伝達 について

- 気象情報や防災情報の収集方法について
- 寝屋川流域の河川はん濫、内水浸水の情報伝達について
- 住民の方々にとっていただく行動について
- 住民の方々による普段からの備え

寝屋川流域の 浸水対策について

- 寝屋川流域における浸水対策事業について
- 集中豪雨被害軽減対策について
- 大雨に備えて

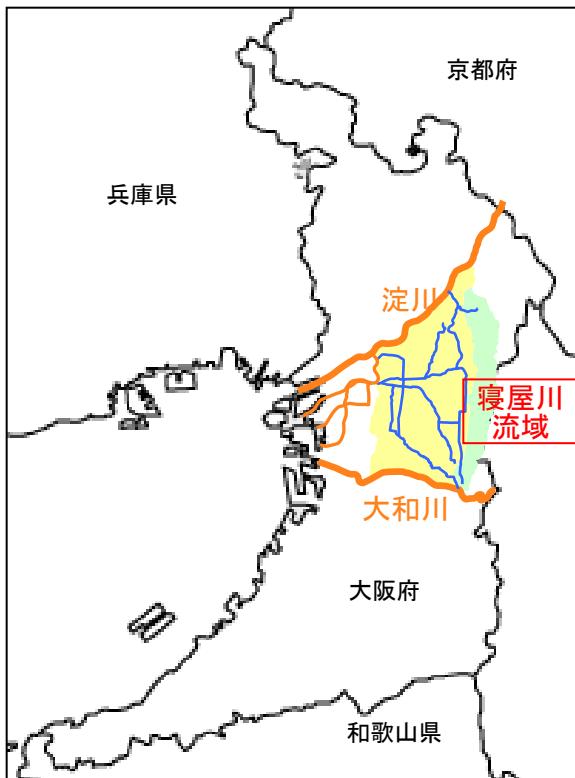


寝屋川流域について

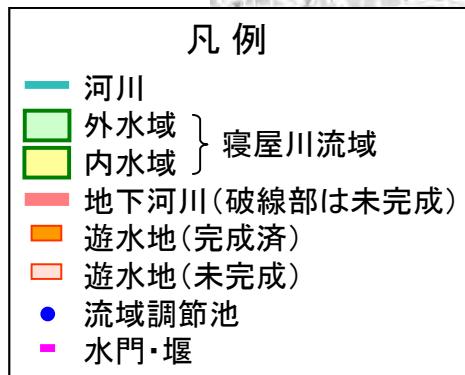
寝屋川流域の特徴について

流域の概要

寝屋川流域は、大阪市東部を含む12市（大阪市，守口市，枚方市，八尾市，寝屋川市，大東市，柏原市，門真市，藤井寺市，東大阪市，四條畷市，交野市）にまたがっており、その面積は267.6 km²（東西約14km，南北約19km）で、東側を生駒山地、西側を大阪城から南に伸びる上町台地で区切られ、北側と南側は淀川と大和川に囲まれています。



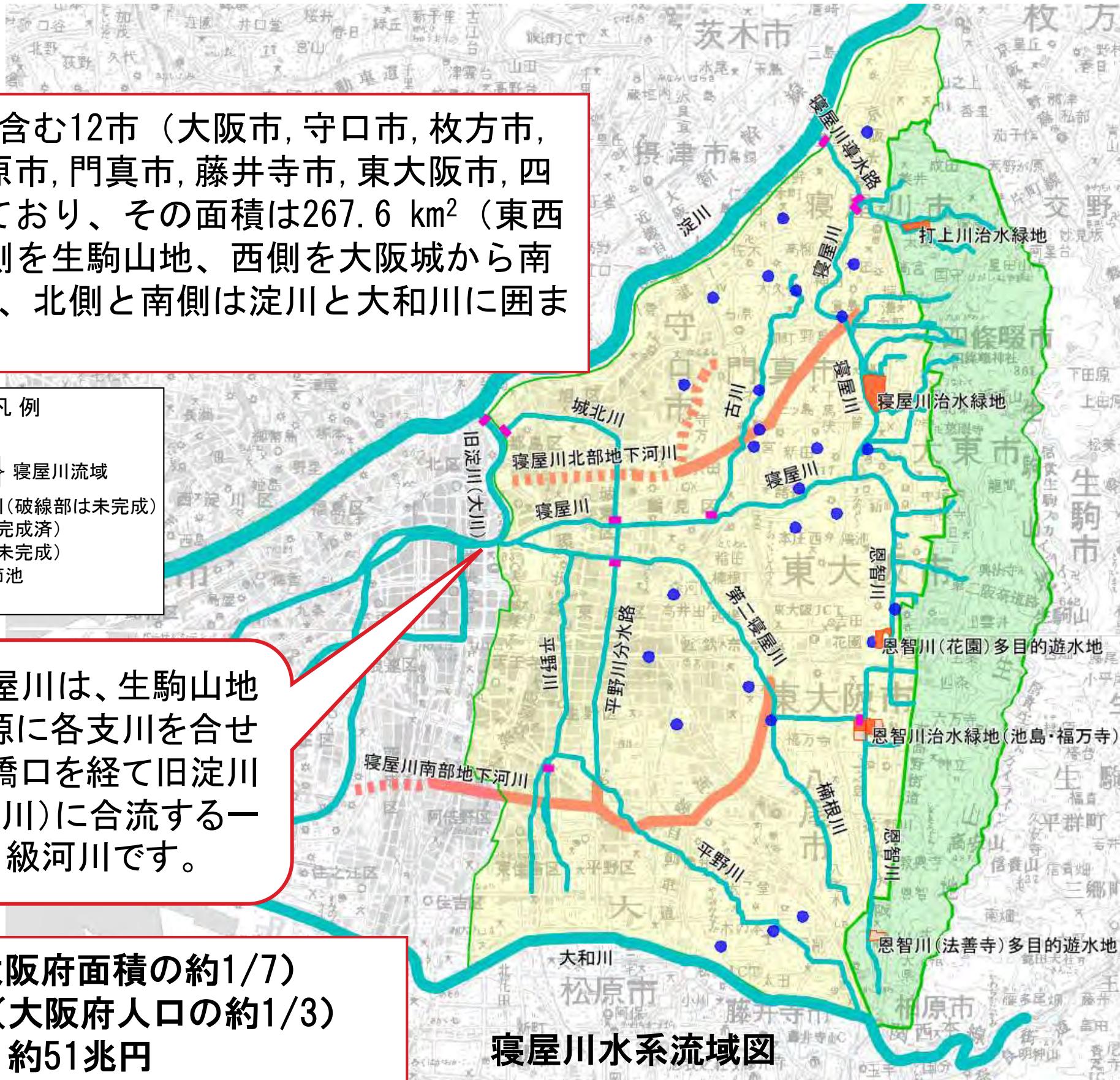
寝屋川水系位置図



寝屋川は、生駒山地を源に各支川を合せ京橋口を経て旧淀川(大川)に合流する一級河川です。

流域面積：267.6km²（大阪府面積の約1/7）
流域の人口：約273万人（大阪府人口の約1/3）
流域の資産：約51兆円

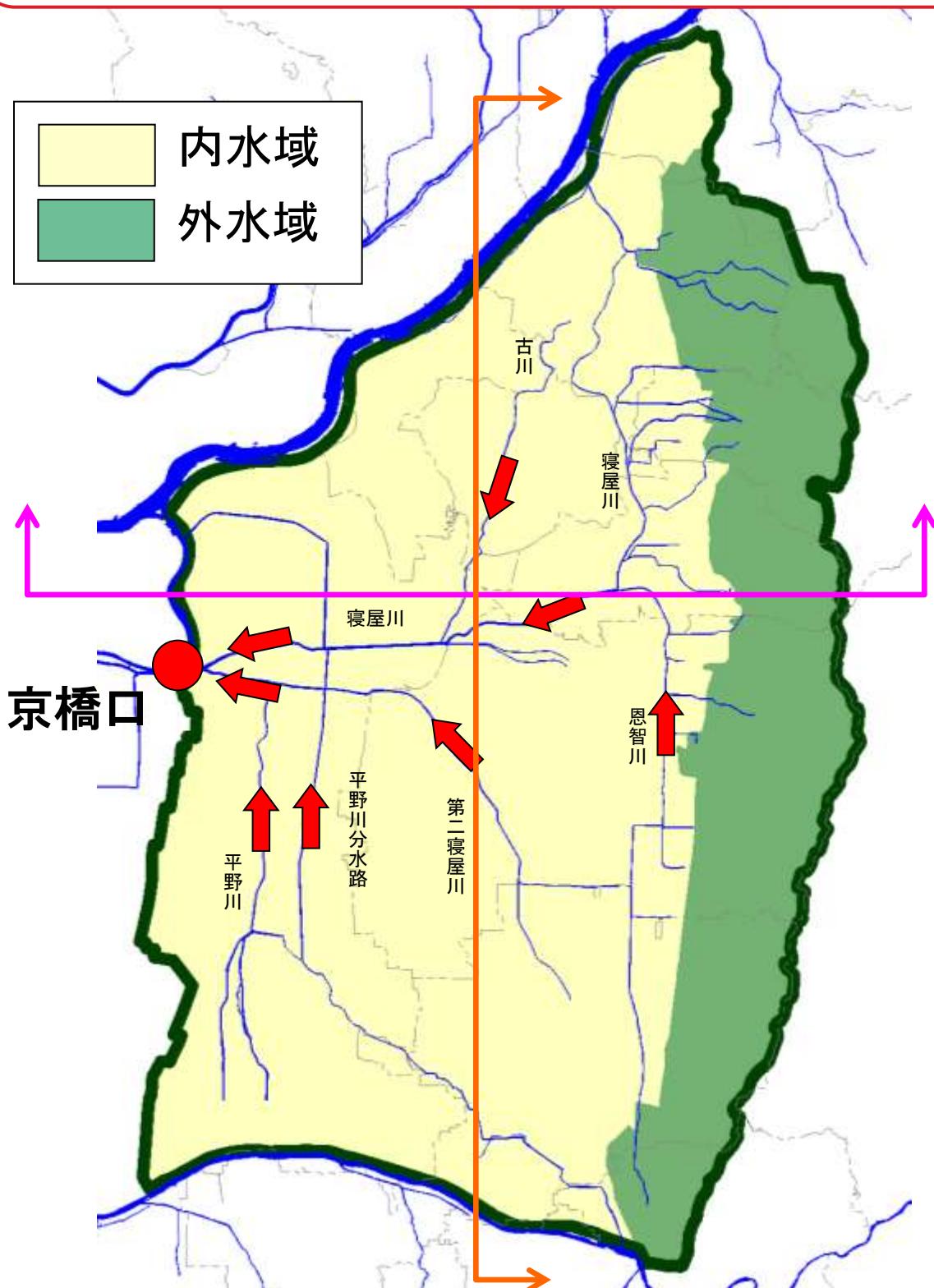
(H17年国勢調査およびH18年事業所・企業統計調査に基づく)



寝屋川水系流域図

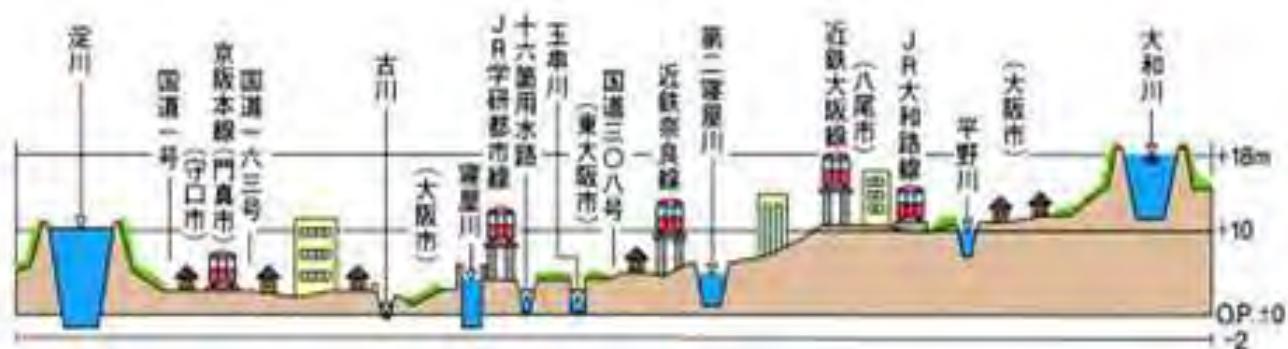
寝屋川流域の特徴について

- 寝屋川流域は、地形的な特性から水はけが悪く、流域面積の約3/4が雨水排水をポンプなどの施設に頼らなければならない川より低い地域(内水域)です。
- 寝屋川流域では、河川によって集められた雨水の出口は京橋口の一箇所しかありません。



地盤高断面図

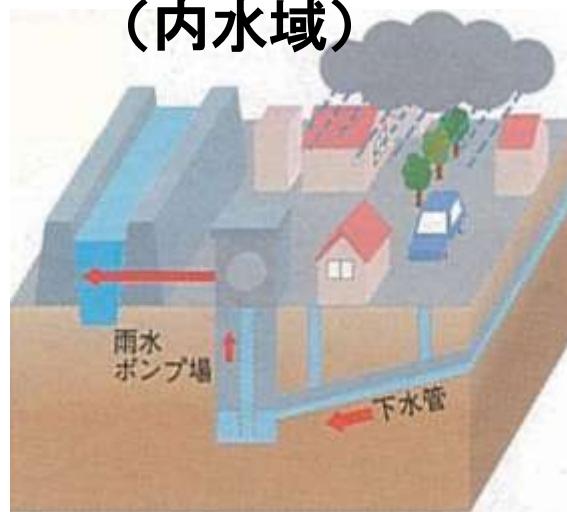
南北方向



東西方向



川より低い地域
(内水域)



寝屋川流域は、川より低い地域であることに加え、都市化により雨が地面にしみ込みにくいことから、浸水が発生し易い地域です。





下水道ポンプ 運転調整について

下水道ポンプ運転調整の必要性について

寝屋川流域水害対策計画

○河川管理者、流域内の都道府県・市長村長、下水道管理者が協働して作成

特定都市河川等の指定（法第3条）

※平成18年に寝屋川流域が特定都市河川に指定（大阪府知事指定）

寝屋川流域水害対策計画策定（法第4条） 平成18年2月策定

特定都市河川の整備

特定都市下水道の整備

河川管理者が行う雨水貯留
浸透施設の整備

特定都市下水道のポン
プ施設の操作

雨水の一時的な貯留、
又は地下への浸透

その他、
必要な措置

ポンプ施設の操作規定を追加

下水道ポンプ運転調整の必要性について

下水道ポンプ運転調整ルール策定の必要性

ポンプ運転調整を実施しなかった場合



ポンプ運転調整を実施した場合



破堤により氾濫水が継続的にまちへ流出

ポンプ運転調整(河川水位低下)により破堤を回避



破堤により壊滅的な被害を招く

破堤を回避し浸水被害の最小化を図る

・現状

河川管理者と下水道管理者による個別の運転方法(ポンプの停止など)を取決め

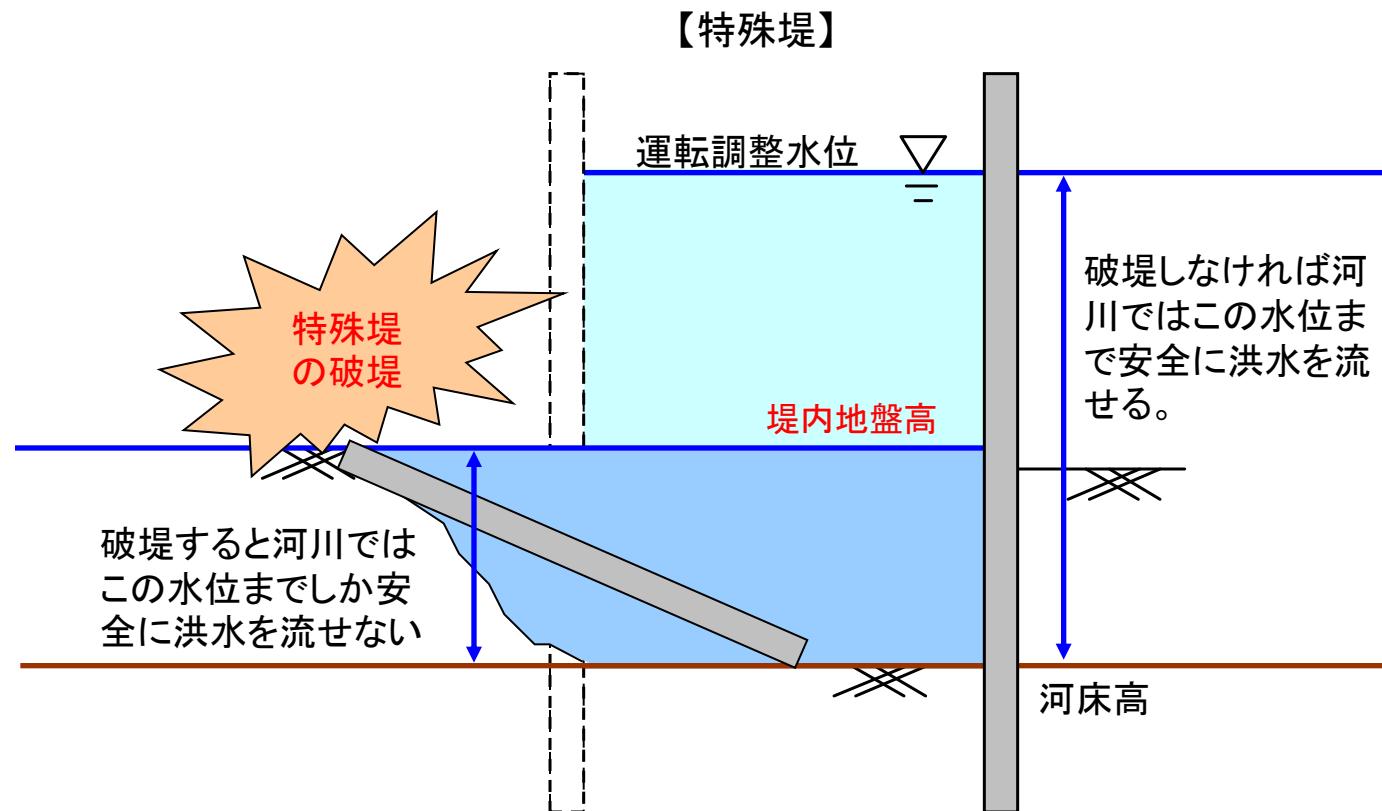


・「特定都市河川浸水被害対策法」(平成16年5月施行)に基づく運転ルールとして位置づけ

下水道ポンプ運転調整の必要性について

■もし破堤が発生してしまったら・・・

- ・破堤した箇所を復旧して止水高を確保しないかぎり、河川水が流れ込む。
- ・堤防の復旧が完了するまで下水道ポンプからの放流が制限またはできなくなる。



【破堤時の下水道ポンプ放流量】

<<

【通常時の下水道ポンプ放流量】

この場合

○堤防の復旧が完了するまで下水道ポンプからの放流ができなくなる。

- ・下水道ポンプからの放流を行うと河川水位が上昇し、破堤箇所から氾濫が生じる(下水道ポンプからの放流がそのまま、氾濫につながる)。
- ・雨水時に下水道ポンプからの放流を行えない場合には、大規模な内水氾濫が発生する危険性がある

このため、堤防の破堤は回避する必要がある。

最大1時間雨量93ミリ、2日間雨量567ミリ（観測：名古屋市）



平成12年9月 東海豪雨による堤防決壊と浸水被害状況（愛知県名古屋市）

下水道ポンプ運転調整の必要性について

ポンプ運転調整ルール策定の必要性

平成16年5月 都市部を流れる河川の流域における浸水被害軽減のため特定都市河川浸水被害対策法（以下「新法」という）施行



平成18年1月 寝屋川流域が新法に基づく「特定都市河川流域」に指定（大阪府知事指定）



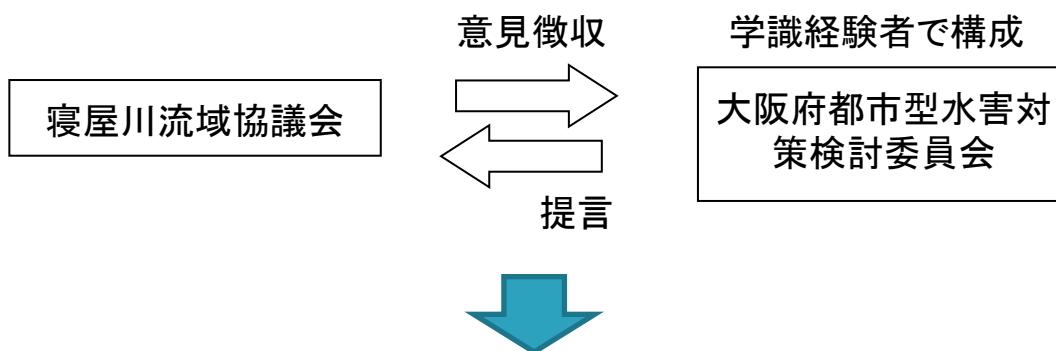
寝屋川流域協議会（昭和60年設立）で検討

事務局：大阪府

メンバー：大阪市・守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・大東市・柏原市・門真市・東大阪市
四条畷市・交野市・藤井寺市

オブザーバー：国土交通省近畿地方整備局

【目的】寝屋川流域の適切な治水対策、水環境改善等の推進



平成24年5月 「寝屋川流域における下水道の雨水ポンプ施設の操作に関する要綱」を協議会で作成

ポンプ運転調整のルールについて

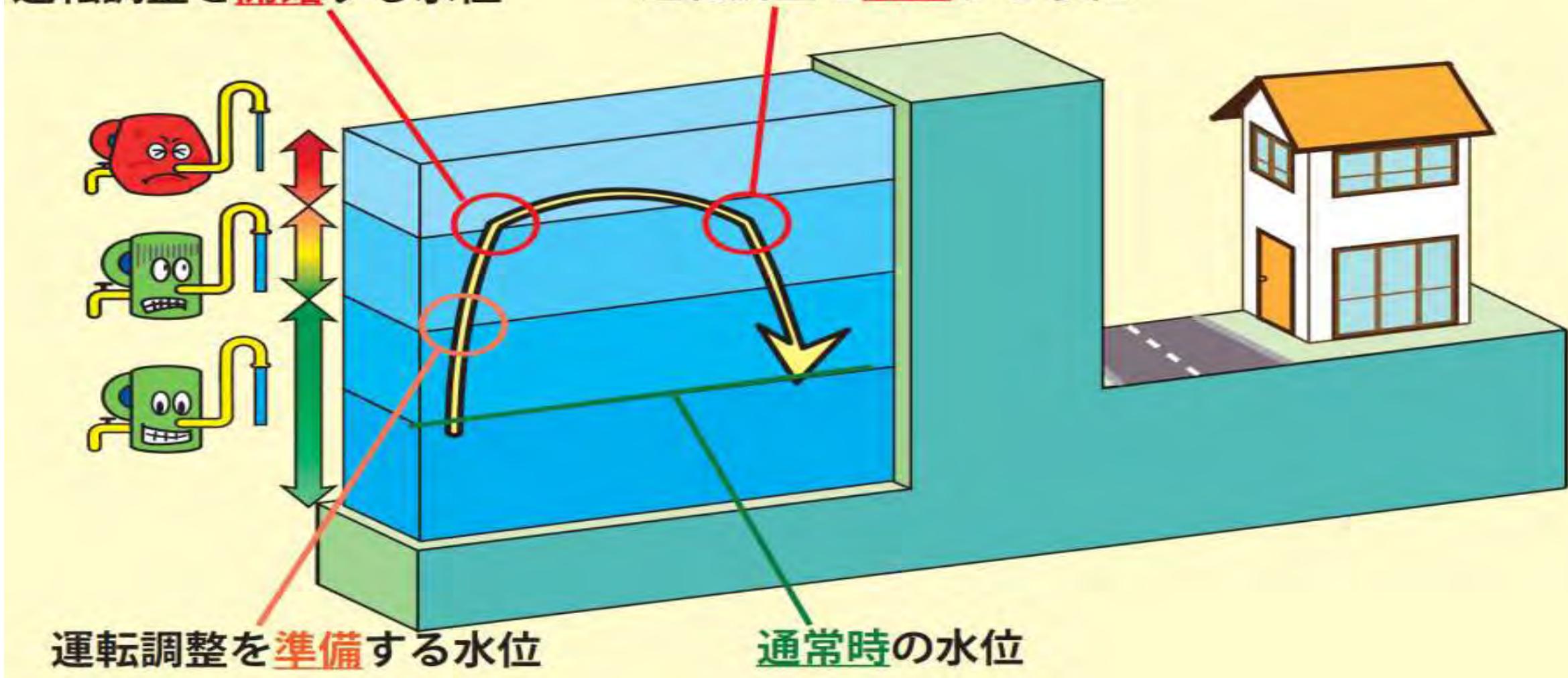
大阪府水防本部長（大阪府知事）が、河川氾濫による甚大な洪水被害を回避するため、下水道管理者に指示し、**最終的な手段としてやむを得ず実施**するものです。

基準地点と基準水位

- ・基準地点（河川に設けられている水位観測所）26地点
- ・各基準点ごとに、準備・開始・解除水位を設定

運転調整を**開始**する水位

運転調整を**解除**する水位



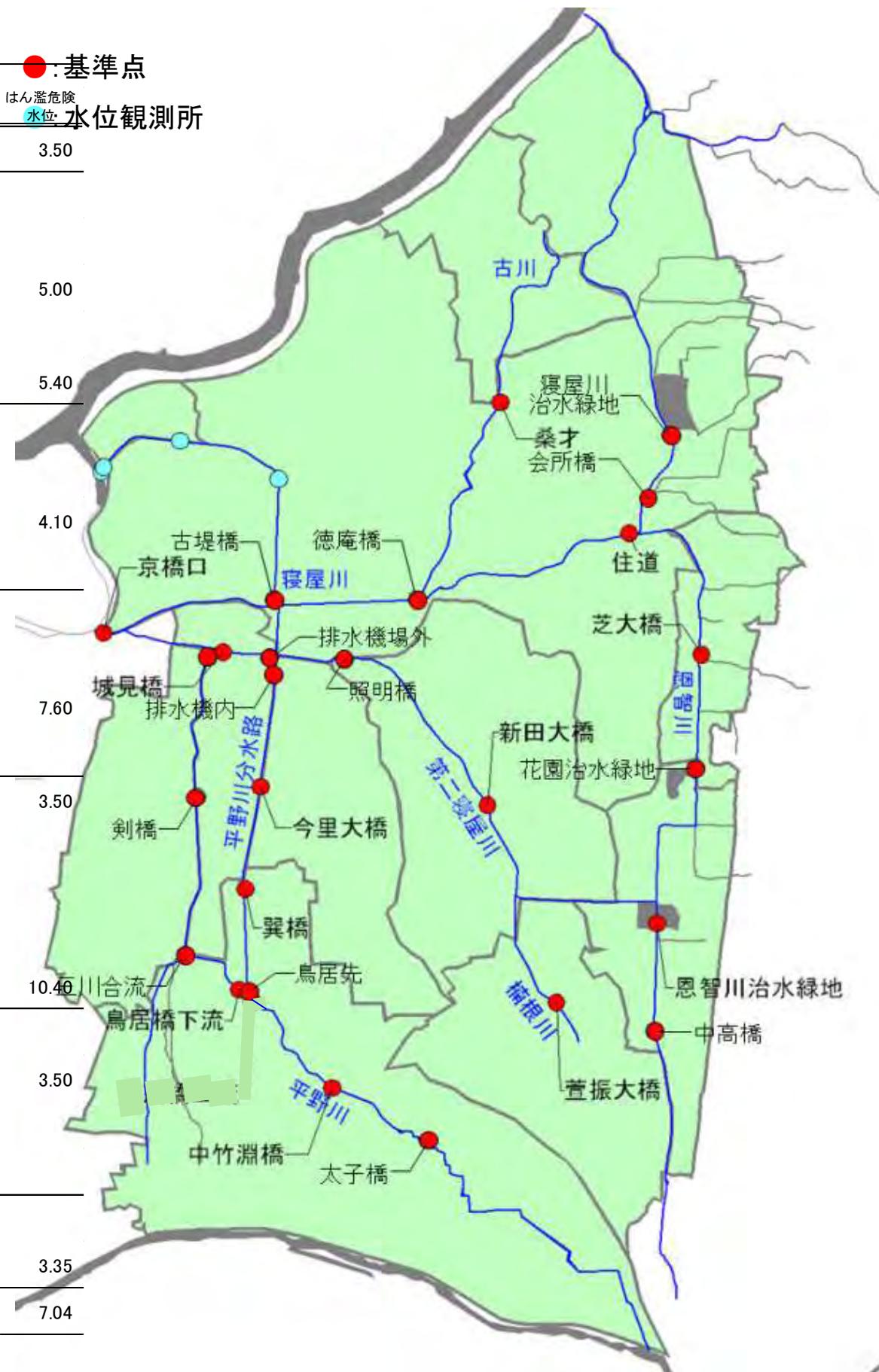
運転調整を**準備**する水位

通常時の水位

ポンプ運転調整のルールについて

基準地点

ポンプ場・処理場名	種別		ポンプ運転調整			洪水予報			
	河川名	観測所名	準備水位	開始水位	解除水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位	
全機場	全流域	■ 京橋	3.00	3.50	3.30	3.00	3.30	3.50	
鴻池水みらいセンター 菊水ポンプ場 茨田ポンプ場 寺島ポンプ場 水野ポンプ場 深野北ポンプ場 太平ポンプ場 萱島ポンプ場	寝屋川	▲ 古堤橋	3.30	3.94	3.74	3.90	4.80	5.00	
		▲ 徳庵橋	3.50	4.62	4.42				
		■ 住道	3.90	5.33	5.13				
		▲ 会所橋	3.50	5.25	5.05				
		■ 寝屋川治水緑地	4.20	5.57	5.37				
		▲ 城見橋	3.20	3.90	3.70				
川俣ポンプ場 小阪ポンプ場 中浜東処理場	第二寝屋川	▲ 平野川分水路 排水機場外水位	3.20	4.33	4.13	3.40	4.00	4.10	
		■ 照明橋	3.40	4.85	4.65				
		▲ 新田大橋	4.00	5.85	5.65				
		▲ 芝大橋	6.00	6.18	5.98				
深野ポンプ場 植付ポンプ場	恩智川	下流	▲ 花園多目的遊水地	6.25	8.13	7.93	7.05	7.15	7.60
		上流	■ 恩智川治水緑地	7.05	7.53	7.33			
新池島ポンプ場		▲ 中高橋	9.10	10.59	10.39				
長吉ポンプ場 平野市町抽水所	平野川	■ 剣橋	3.30	4.40	4.20	3.30	3.45	3.50	
		▲ 平野川三川合流点	3.80	5.07	4.87				
		▲ 鳥居先 (平野川下流)	5.50	5.97	5.77				
		▲ 中竹淵橋	7.70	9.08	8.88				
		■ 太子橋	9.46	11.48	11.28				
放出処理場 深江抽水所 片江抽水所 平野処理場 高井田ポンプ場 岸田堂ポンプ場	平野川分水路	▲ 平野川分水路 排水機場内水位	3.20	4.35	4.15	3.30	3.45	3.50	
		■ 今里大橋	3.30	4.63	4.43				
		▲ 翼橋	3.30	4.82	4.62				
		▲ 鳥居先 (平野川分水路)	5.00	5.69	5.49				
		▲ 徳庵橋	3.00	3.20	3.00				
桑才ポンプ場	古川	▲ 古川水門内水位	3.00	3.20	3.00	3.20	3.30	3.35	
		■ 桑才	3.20	3.67	3.47				
新家ポンプ場 小阪合ポンプ場	楠根川	■ 萱振大橋	6.74	8.18	7.98	6.74	6.94	7.04	



ポンプ運転調整のルールについて

対象ポンプ場と実施単位

- ・下水道ポンプ場 大阪市10箇所
【全体32箇所】
- ・河川単位で実施
(寝屋川・第二寝屋川・恩智川〈上流・下流〉・
平野川・平野川分水路・古川・楠根川)
- ※京橋口が基準水位に到達した場合は全ポンプ場で実施

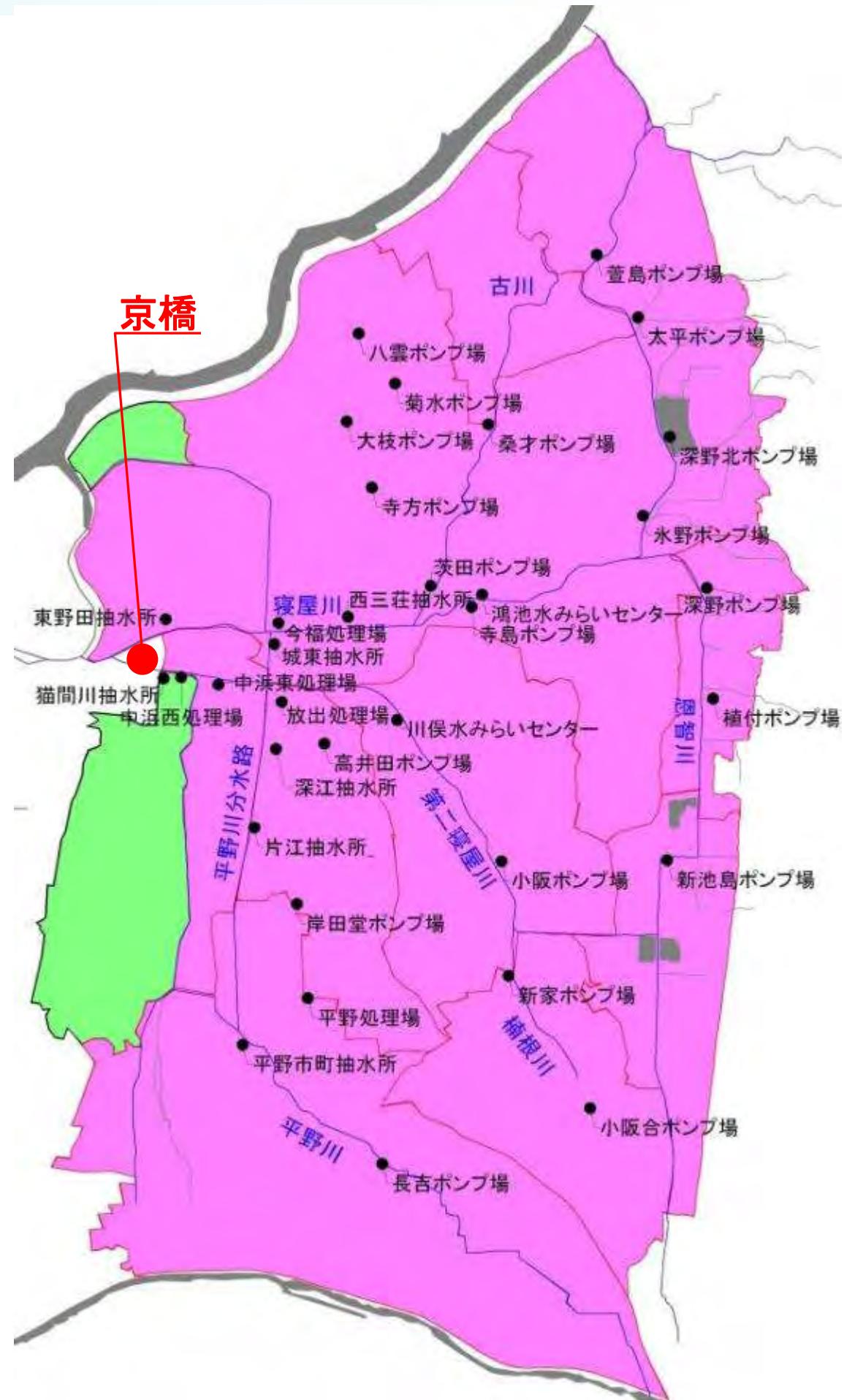
制限放流量

- ・計画放流量に対して、原則50%に放流量を制限



ポンプ運転調整のルールについて

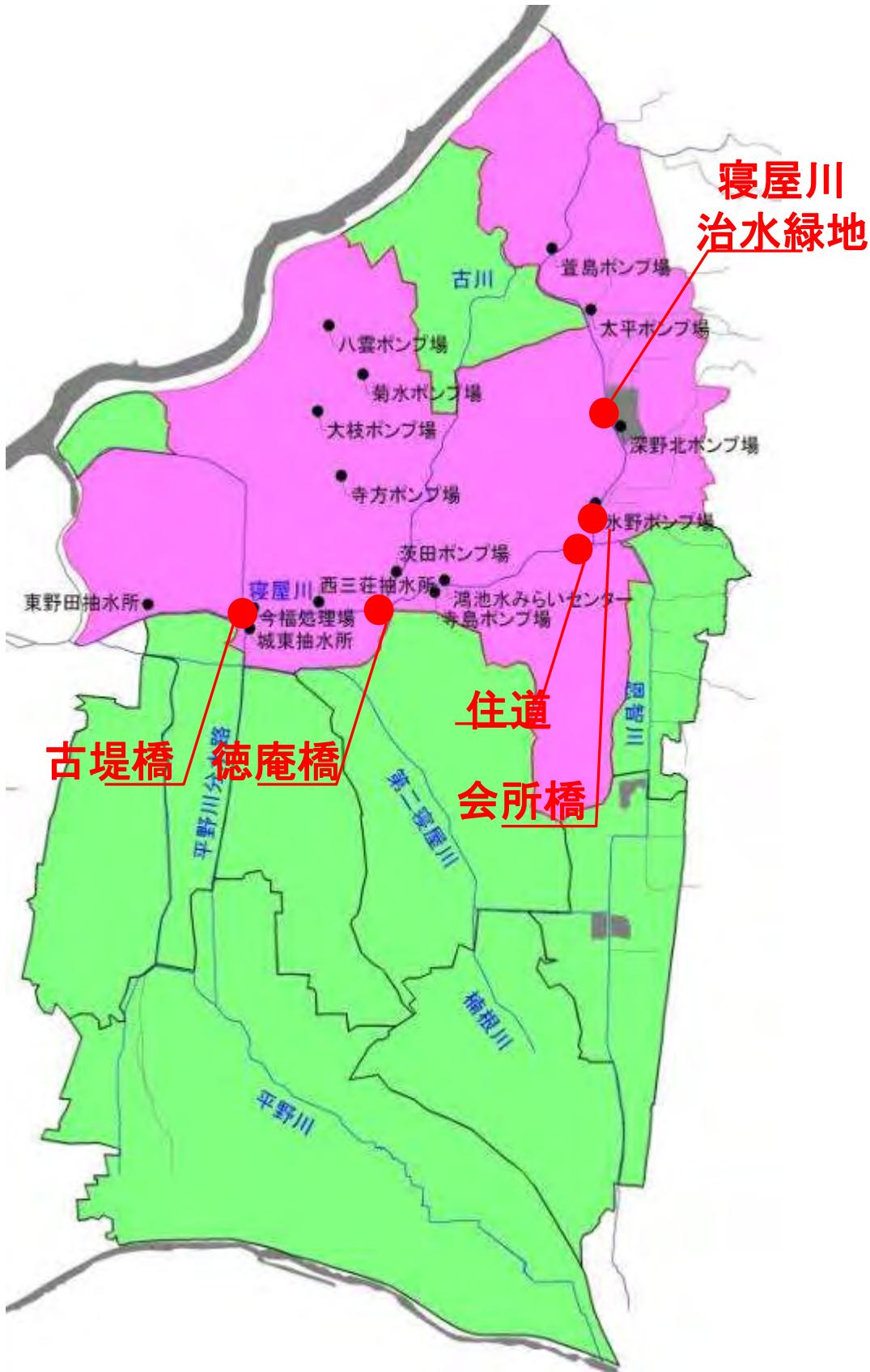
河川名	寝屋川(京橋)
-----	---------



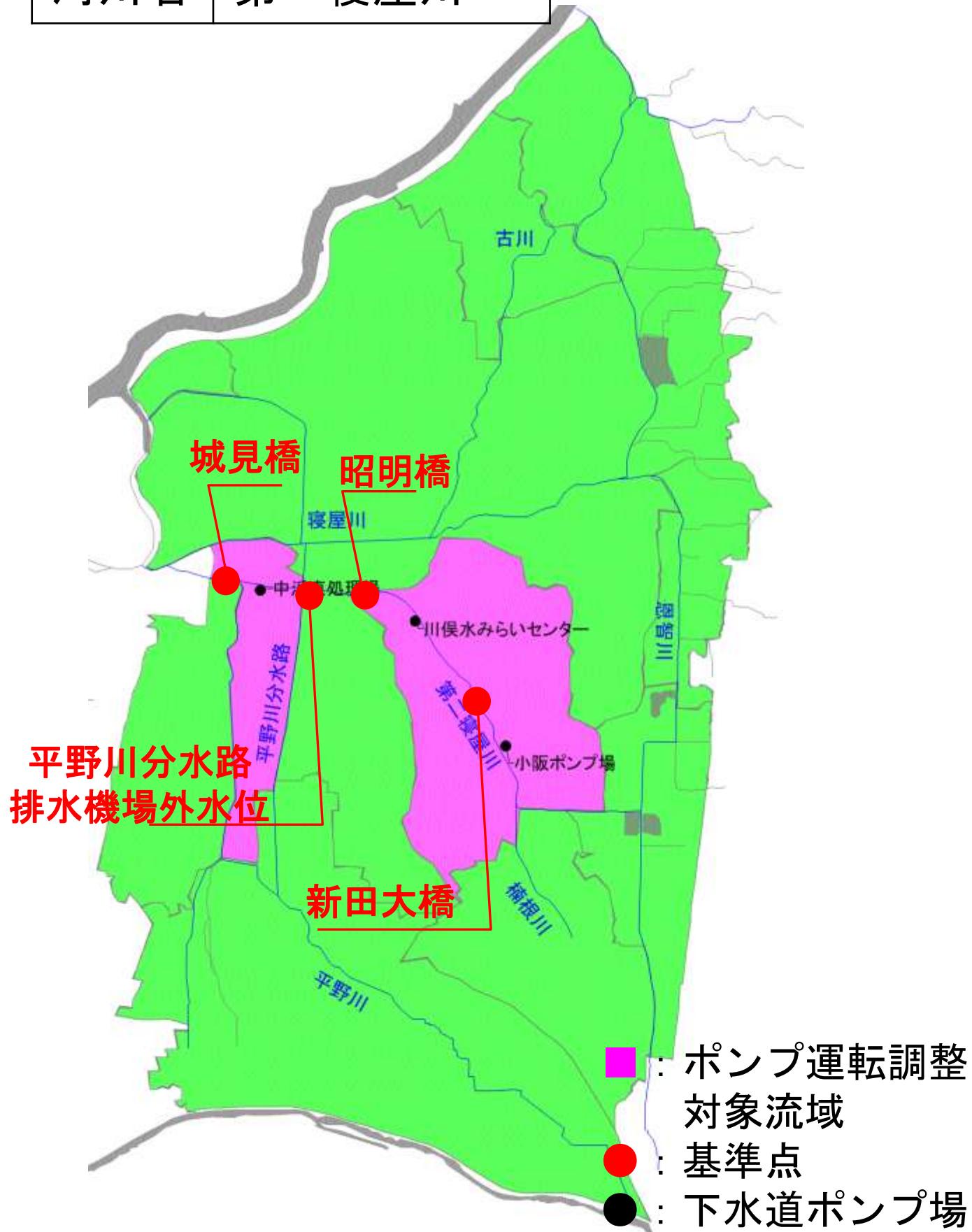
- : ポンプ運転調整対象流域
- : 基準点
- : 下水道ポンプ場

ポンプ運転調整のルールについて

河川名 寝屋川



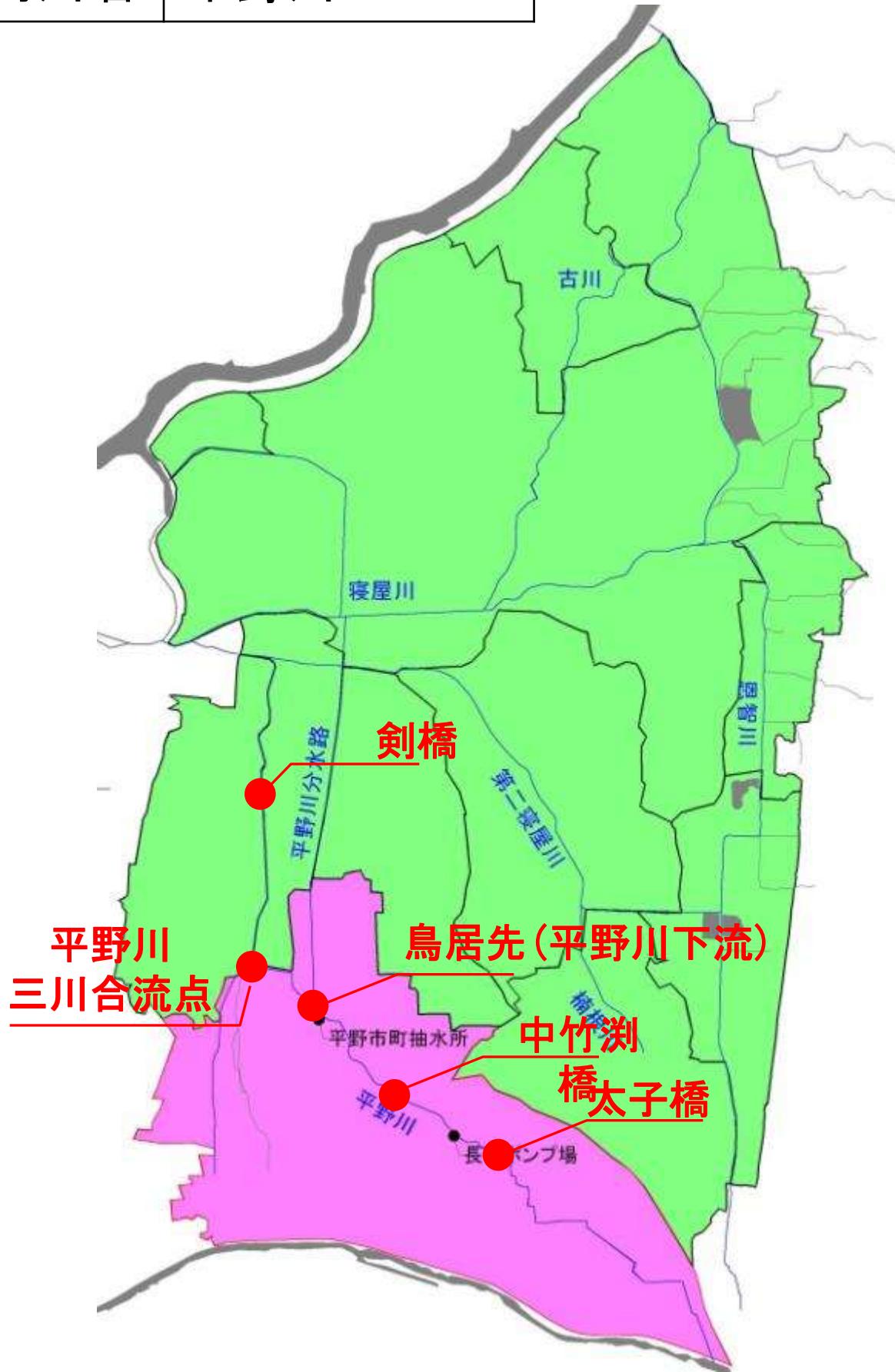
河川名 第二寝屋川



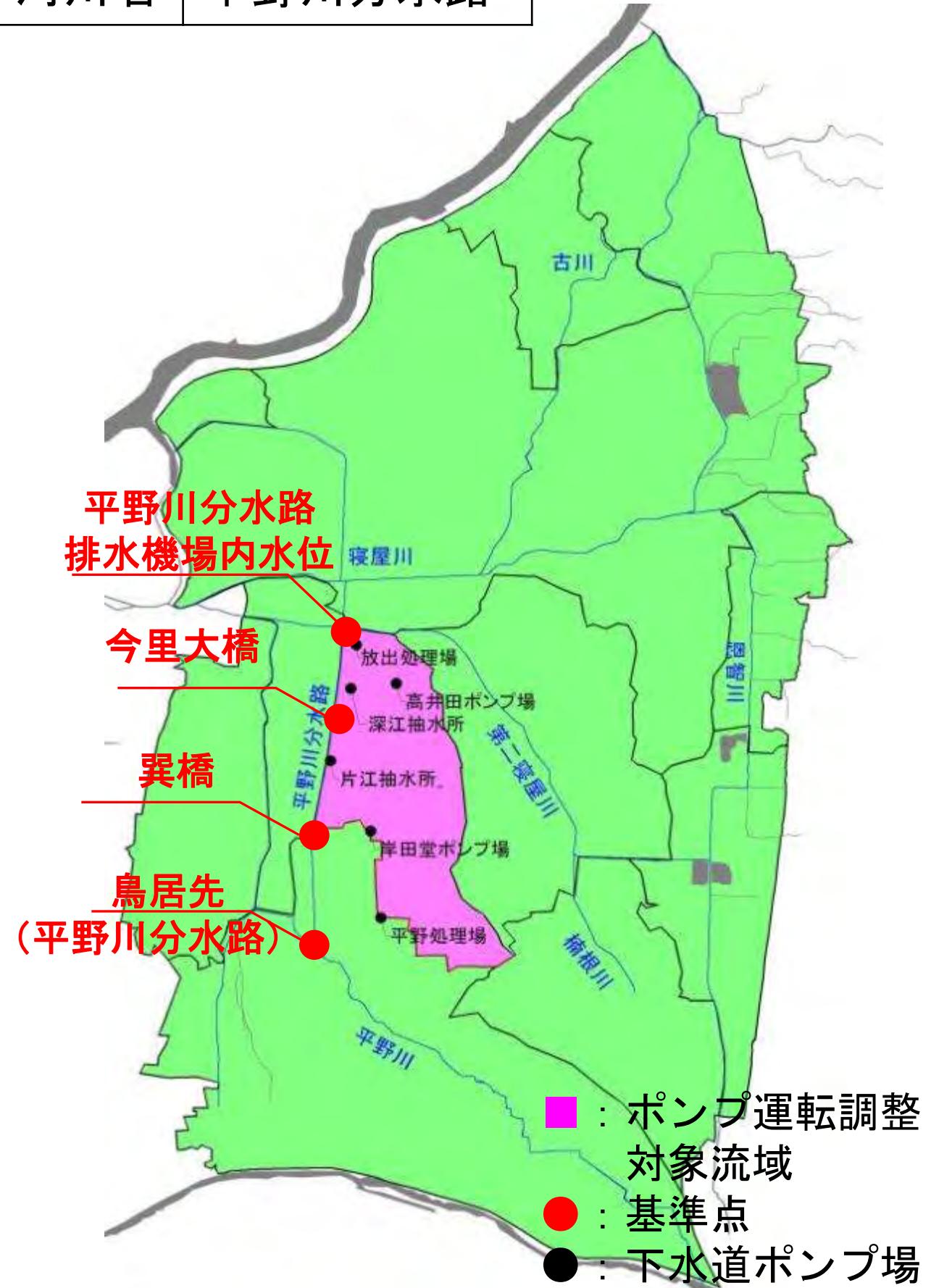
- : ポンプ運転調整対象流域
- : 基準点
- : 下水道ポンプ場

ポンプ運転調整のルールについて

河川名 平野川



河川名 平野川分水路





情報発信・

情報伝達について

気象情報や防災情報の収集方法について

大阪府などでは、河川はん濫や浸水に対して、流域関係市と連携し、住民が的確に避難行動を取れるよう情報提供していきます。

防災情報

【おおさか防災ネット】

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>



緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

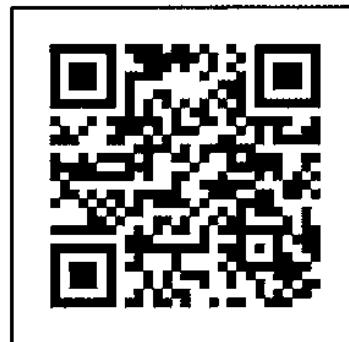


防災情報を携帯電話で入手できます。下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

防災情報メール

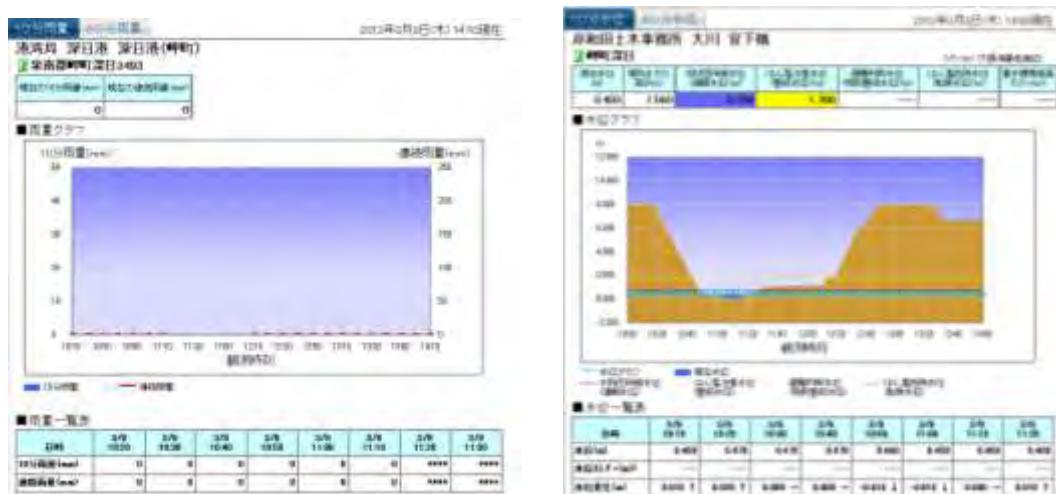
地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。

touroku@osaka-bousai.net



【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>



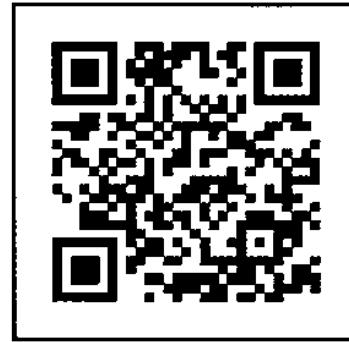
寝屋川流域の雨量、流域内主要河川の水位状況などを確認できます。

川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。

<http://i.river.go.jp/>

直接アクセスしてください。



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/mobile/>

直接アクセスしてください。

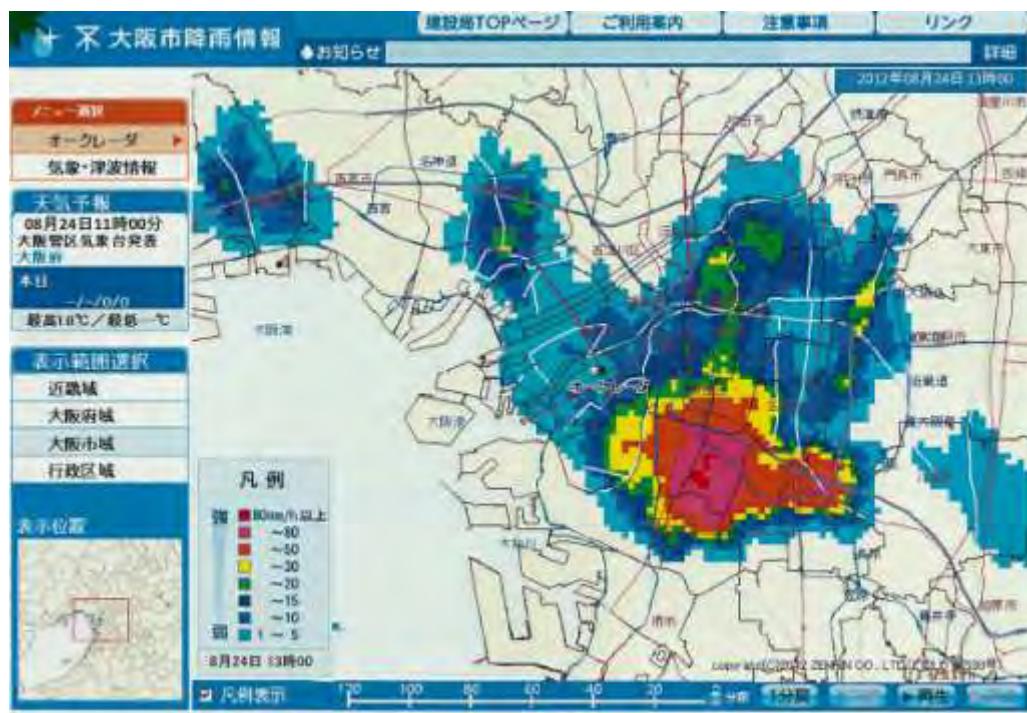


気象情報や防災情報の収集方法について

気象情報

【大阪市降雨情報】

<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>



大阪市では、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。

【気象庁】

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
＜携帯サイト＞

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



視聴方法

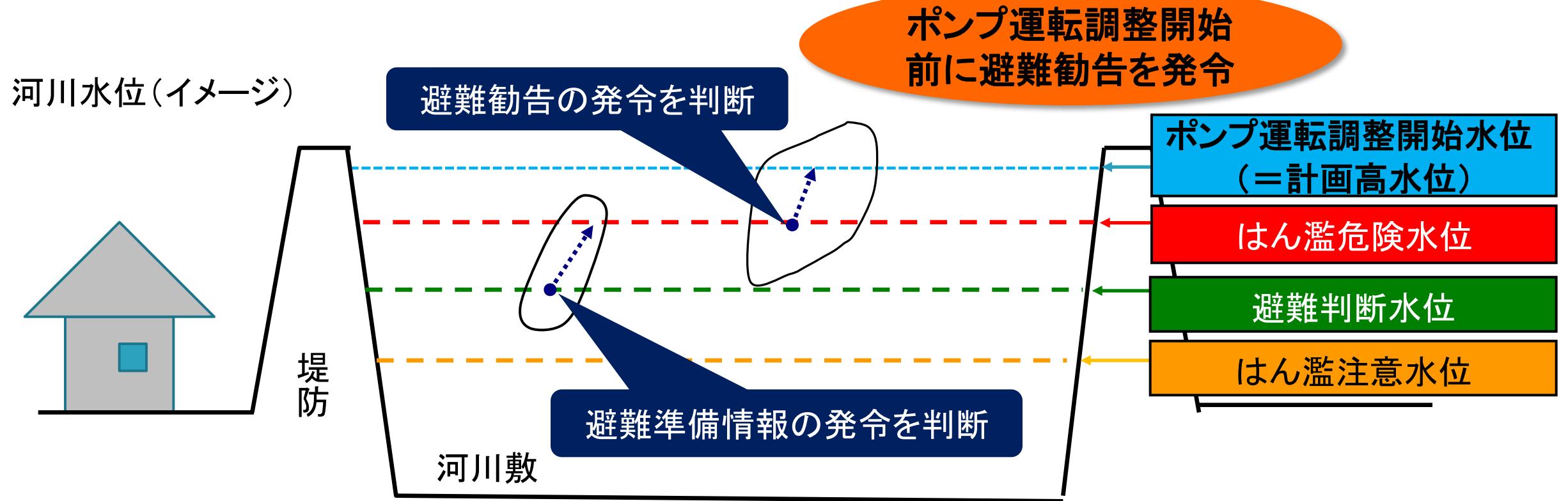
NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す

TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。

「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

寝屋川流域の河川はん濫、内水浸水の情報伝達について



避難準備情報: 災害発生の可能性が予想される状況
 避難勧告: 災害発生の可能性が明らかに高まった状況

ポイント!

- ◆寝屋川流域に河川はん濫の避難準備情報が発令されている場合
 ⇒その後の水位の状況によっては、ポンプ運転調整を行う可能性あり
- ◆寝屋川流域に河川はん濫の避難勧告が発令されている場合
 ⇒ポンプ運転調整を行う可能性が高い

※ポンプ運転調整を開始していなくても、雨の降り方によっては、浸水被害が発生することがあります。

河川はん濫の避難準備情報や避難勧告は、次の方法などにより伝達します。

- ・緊急速報メール
 - ・大阪市ホームページ
 - ・おおさか防災ネット
 - ・ツイッター
 - ・テレビ・ラジオ
 - ・防災行政無線(防災スピーカー)
 - ・区役所からの地元組織への連絡
 - ・広報車
- 内水浸水の注意喚起の情報を付加

※緊急速報メールは基本的には避難勧告区域がある区のみ活用。
 ※防災行政無線は避難勧告区域がある区のみ活用。
 (避難勧告・避難指示のみ活用)
 ※地元組織への連絡、広報車による広報は避難勧告区域を中心に実施。

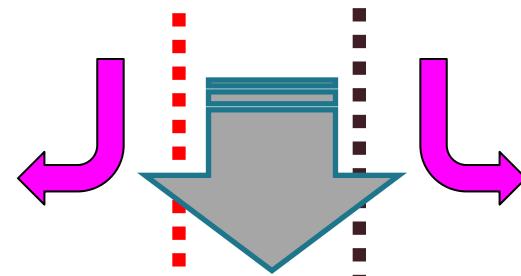
住民の方々にとっていただく行動

河川はん濫の避難勧告区域

河川はん濫の避難勧告の対象でない区域

【気象庁】大雨警報、洪水警報などの発表

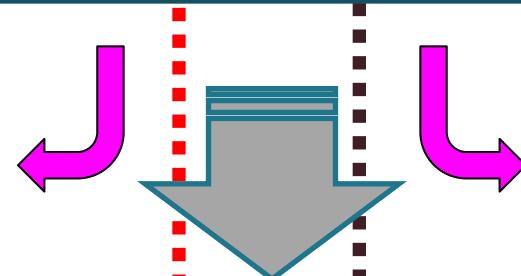
- ・気象情報等の収集、周囲の状況に警戒
 - ・必要に応じ、土のう等の準備・設置
 - ・必要に応じ、自宅や近隣の高いところへ一時避難
- ※特に、地下にいる人は屋外の状況把握、浸水が予想される場合の早めの避難が必要



- ・気象情報等の収集、周囲の状況に警戒
 - ・必要に応じ、土のう等の準備・設置
 - ・必要に応じ、自宅や近隣の高いところへ一時避難
- ※特に、地下にいる人は屋外の状況把握、浸水が予想される場合の早めの避難が必要

【危機管理室・区役所】避難準備情報の発令・伝達（河川はん濫の可能性＋内水浸水の可能性）

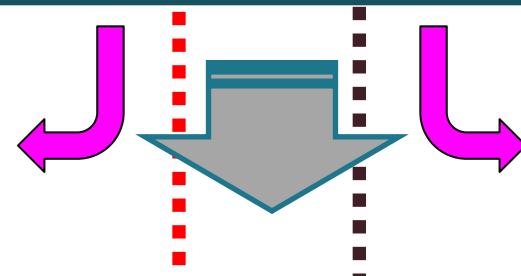
- ・1階に住む人で、高齢者など避難に時間がかかる人は、避難場所への避難行動を開始
- ・1階に住む人で、通常の避難行動が可能な人は、家族等との連絡、非常用持出品の用意など避難準備を開始



・同上

【危機管理室・区役所】避難勧告の発令・伝達（河川はん濫の危険性＋内水浸水の危険性）

- ・1階に住む人で、通常の避難行動が可能な人は、避難場所への避難行動を開始



- ・同上
- ・内水浸水の危険性が高い地域では、土のう等の設置
自宅や近隣の高いところへ一時避難

【建設局】ポンプ運転調整開始（大阪府水防本部長の指示による）

・避難完了

・一時避難完了（必要な場合）

住民の方々による普段からの備え

企業の皆様も地域住民の皆様も、洪水はん濫や浸水が起こった場合には、被害が最小限となる取組みを普段から行いましょう！

気象情報・防災情報への注意

テレビやホームページによる最新の気象情報・防災情報入手し、チェックしましょう！

避難場所・避難経路の確認

避難場所や避難経路は実際に歩いて確認しておきましょう！

排水溝の定期的な掃除

浸水被害の原因につながる排水溝のゴミ等を定期的に掃除しましょう！

垂直避難の検討

外への避難と2階以上への避難のどちらがよいかを考えておきましょう！

手作り土のうなどの準備

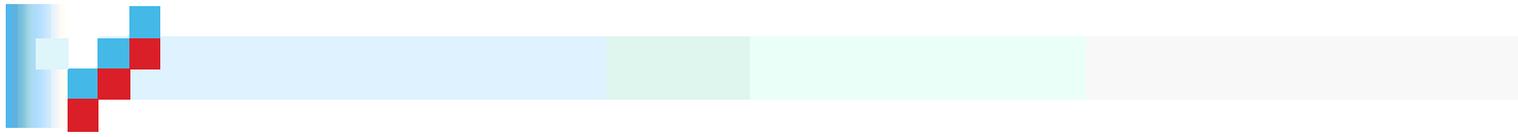
玄関や道路からの浸水を防ぐため、土のうを用意しましょう！

大事な物は高所へ移動

浸水に備えて、会社の設備、家電や貴重品は高所へ移動させましょう！

普段からの心掛け

「庭にはできるだけ土を残しておく」、
「雨水はためて庭の水まきなどに使う」、
「大雨のときにはお風呂の水は流さない」



寝屋川流域の 浸水対策について

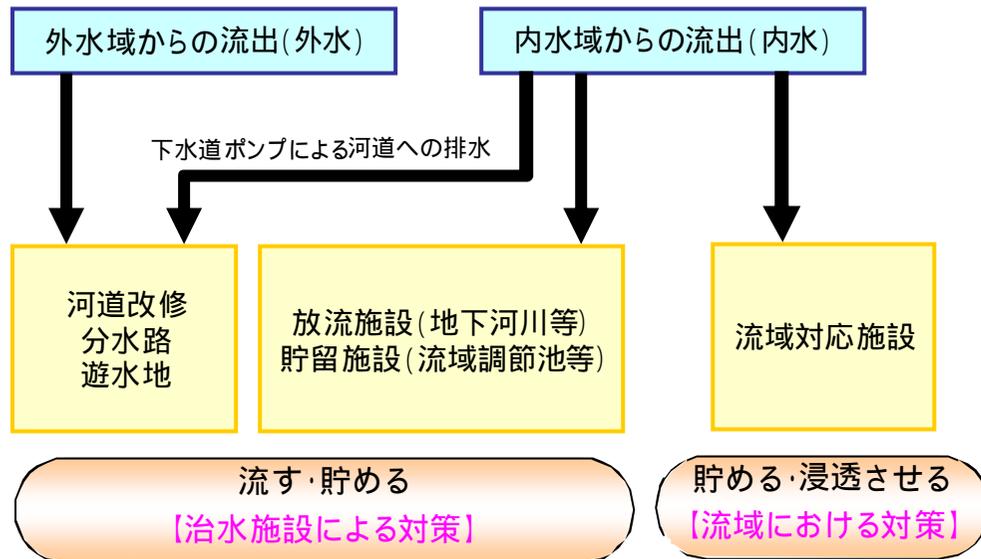
寝屋川流域における浸水対策事業について

総合治水対策

寝屋川流域では、「総合治水対策」を進めています。
「総合治水対策」は、河川や下水道が一体となって整備を進めるとともに、流域における保水・遊水機能を人工的に取り戻そうという考え方に基づく治水対策です。



寝屋川流域の洪水処理計画(ハード対策)



寝屋川流域の治水対策状況位置図

寝屋川流域における浸水対策事業について

河川整備計画の整備対象区間

河川名	番号	工事実施箇所及び区間	事業内容	延長等	備考	
河川	①	JR 学研都市線及び大丘外環状鉄道 寝屋川橋梁部	河川改修	L=50.8m	外水対策	
	②	JR 学研都市線及び大丘外環状鉄道 板東渡河橋梁部	河川改修	L=20.2m		
	③	三箇大橋	橋梁改良	1箇所		
		④	菱鉾下流～近鉄信貴線	河川改修		L=1.2km
		⑤	恩智川(法善寺)多目的治水地	治水地		貯留量 7.4 万 m ³
		⑥	田野川治水緑地(池島・福万弁)	治水地		緑地高切下げ
	⑦	山国道 170 号～上流端	河川改修	L=0.7km		
	⑧	中商橋～国道 170 号	調査・検討	L=0.2km		
	⑨	旧国道 170 号～上流約 0.4km	河川改修	L=0.4km		
	⑩	西大倉橋、新森小路橋	橋梁改良	2箇所		
	⑪	打上川治水緑地下流部等	治水空間整備	L=0.3km		
		古川合流点～成大橋上流	底質汚泥除去	L=2.5km		
	⑫	平野川橋一本筋橋	多自然生浄化	L=0.5km		
二森橋下流～都橋		底質汚泥除去	L=2.0km			
⑬	吉川大橋下流～三ツ島大橋	底質汚泥除去	L=2.0km			
寝屋川北部地下河川	⑭	門真調水池	地下河川	L=2.9km、内径 5.4m	内水対策	
	⑮	守口調水池	地下河川	L=3.1km、内径 5.1m～4.1m		
	⑯	鶴見調水池	地下河川	L=1.7km、内径 9.0m		
	⑰	帷布調水池	地下河川	L=2.9km、内径 11.5m		
	⑱	浦水橋場	地下河川	35m ² /s		
寝屋川南部地下河川	⑲	岸里調水池	地下河川	L=2.2km、内径 9.8m		
	⑳	浦水橋場	地下河川	120m ² /s		
流域調留池 (貯留量約 40.0 万 m ³)	㉑	西郷調留池	調留池	貯留量 4,000 万 m ³		
	※	寶島、守口、東野田、西今、中浜、長吉、片江、その他	調留池	貯留量 約 36,000 万 m ³		



※ 整備対象とする流域調留池は、候補地を対象に整備効果や実現性などの検討を行い選定する。

寝屋川流域における浸水対策事業について

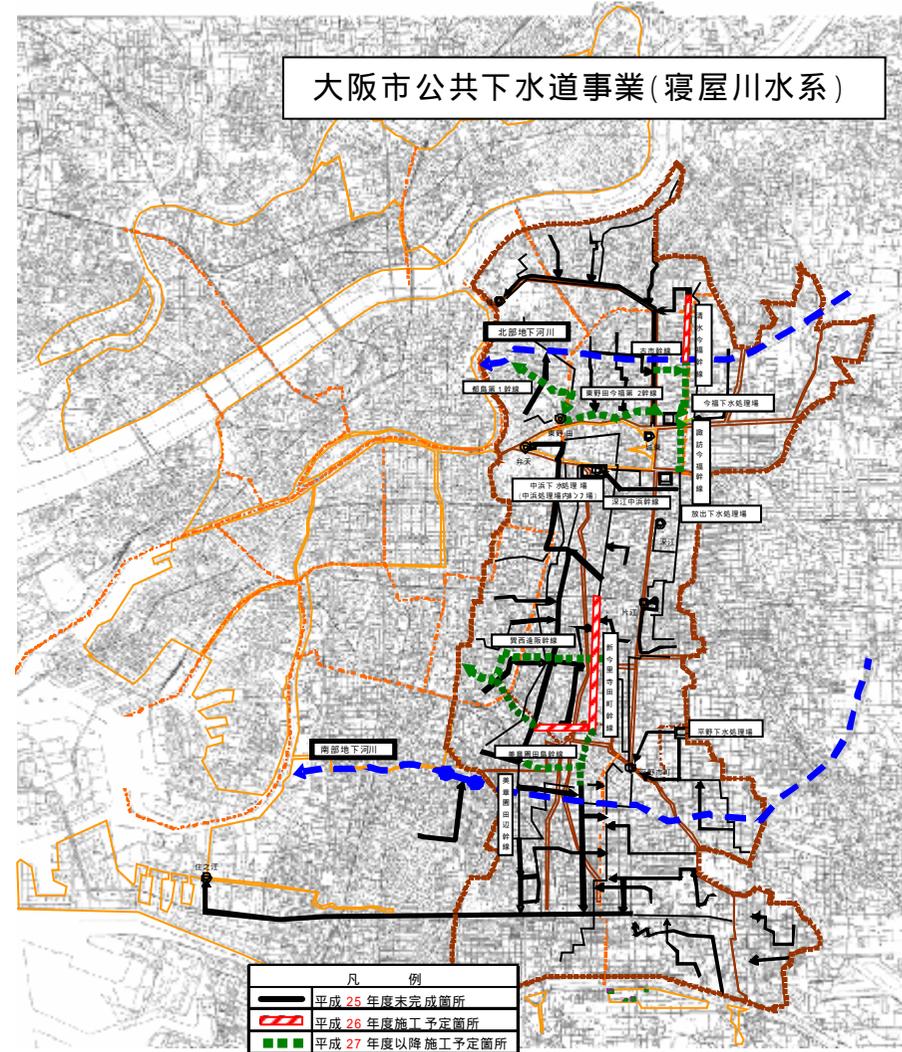
【主要な浸水対策事業と進捗状況】

(1) 幹線

処理区	幹線名	延長 (m)	貯留量	備考
今福	都島第1幹線	φ5,900mm L=1,620m	213,300m ³	計画
	都島第2幹線	φ5,900mm L=1,240m		平成16年度完成
	東野田今福第2幹線	φ5,500mm L=2,190m		計画
	清水今福幹線	φ5,500mm L=3,020m		平成12年度着手
	諏訪今福幹線	φ5,500 ~ 4,500mm L=1,400m		一部完成(700m)
	古市幹線	φ3,400mm L=570m		計画
中浜	天王寺弁天幹線	φ6,000 ~ 2,300mm L=8,200m	233,600m ³	昭和56年度完成
	深江中浜幹線	φ5,500mm L=1,050m		平成22年度完成
	鳴野西中浜幹線	φ3,250 ~ 4,500mm L=1,550m		平成17年度完成
	巽西逢坂幹線	φ6,000mm L=3,400m		計画
	新今里寺田町幹線	φ5,500 ~ 5,000mm L=4,370m		平成21年度着手
	美章園田島幹線	φ5,000 ~ 3,000mm L=2,470m		計画
放出	小路深江幹線	φ4,000 ~ 1,500mm L=3,300m		平成7年度完成
	深江中浜幹線	φ5,500 ~ 4,500mm L=1,170m		平成22年度完成
平野	なにわ大放水路	φ6,500 ~ 2,200mm L=12,160m		平成11年度完成
	美章園田辺幹線	φ2,400 ~ 2,000mm L=3,950m		平成21年度完成

(2) ポンプ施設

処理区	ポンプ場名	計画排水能力(m ³ /s)		放流先	進捗状況
		雨水	汚水		
中浜	弁天抽水所	57.50	0.06	旧淀川	昭和56年度完成
	処理場内ポンプ室	19.00	-	第2寝屋川	平成23年度完成
平野	住之江抽水所	72.29	-	住吉川	平成11年度完成



集中豪雨被害軽減対策

雨水の集水不良などが浸水の
要因となっている地区

下水管の能力不足などが浸水の
要因となっている地区

点の対策

- ますの増設・改良
- 横断側溝・縦断側溝の設置など

面の対策

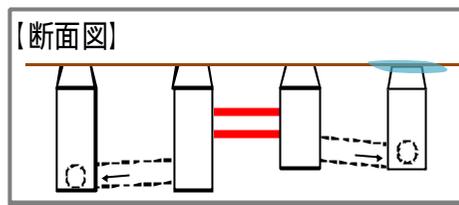
- 枝線管渠のネットワーク化
- 貯留施設の整備 など



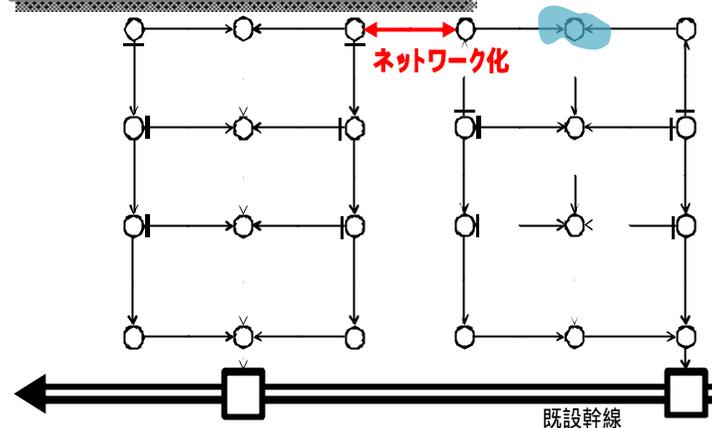
ます



横断側溝



【平面図】



枝線管渠のネットワーク化

【お願い】

- 雨水の下水道への入り口である“ます”を植木鉢などでふさいだり、ごみや砂を掃きこんだりしない。
- 大雨の時には、「洗濯をしない」・「お風呂の水を流さない」等、多くの水が下水道へ流れ込まないように努める。
- 下水道にたくさんの水が一度に流れ込むため、ご家庭で雨水をタンクで貯める助成制度を活用してみませんか。



雨水貯留タンク

【注意点】

- 大雨が降った場合の浸水の予想や避難情報を防災マップで事前に確認しておく。
- 気象情報には十分注意し、河川には近づかない。
- アンダーパスが冠水している場合は通行しない。

大阪市降雨情報

(<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>)



アンダーパス



1. 特定都市河川浸水被害対策法に基づくポンプ運転調整の概要

■ポンプ運転調整の目的

ポンプ運転調整は、想定外の大雨に対して浸水被害を最小化するため、特定都市河川浸水被害対策法に基づき、河川氾濫を回避するための最終的な手段として実施するものです。

■寝屋川流域の特徴

寝屋川流域は、川より低い地域であることに加え、都市化により雨が地面に浸み込みにくいことから、雨水が一気に下水道に流れ込むようになりました。

寝屋川流域の約3/4は雨水が自然に河川に流れ込まない「内水域」となっているため、下水道で集めた雨水を強制的に河川へ放流しています。



■下水道ポンプ運転調整ルール策定の必要性

ポンプ運転調整を実施しなかった場合



破堤により氾濫水が継続的にまちへ流出

破堤により壊滅的な被害を招く

ポンプ運転調整を実施した場合



ポンプ運転調整(河川水位低下)により破堤を回避

破堤を回避し浸水被害の最小化を図る

・現状
河川管理者と下水道管理者による個別の運転方法(ポンプの停止など)を取決め

「特定都市河川浸水被害対策法」(平成16年5月施行)に基づく運転ルールとして位置づけ

■位置図(寝屋川流域)



■下水道ポンプの運転ルール

大阪府水防本部長(大阪府知事)が、河川氾濫による甚大な洪水被害を回避するため、下水道管理者に指示し、最終的な手段としてやむを得ず実施するものです。

基準地点と基準水位

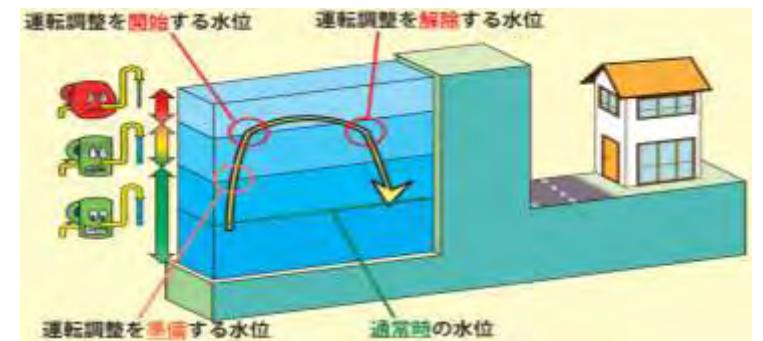
・基準地点(河川に設けられている水位観測所)26地点
・各基準点ごとに、準備・開始・解除水位を設定

対象ポンプ場と実施単位

・下水道ポンプ場 大阪市10箇所【全体32箇所】
・河川単位で実施(寝屋川・第二寝屋川・恩智川〈上流・下流〉・平野川・平野川分水路・古川・楠根川)
※京橋口が基準水位に到達した場合は全ポンプ場で実施

制限放流量

・計画放流量に対して、原則50%に放流量を制限します。



2.大雨の災害への備え

■ 気象情報や防災情報の収集方法

【おおさか防災ネット】

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>
緊急情報、避難勧告、地震津波情報

【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>
寝屋川流域の雨量、河川の水位状況

インターネットで気象情報や防災情報を入手できます。

【気象庁】

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

【大阪市降雨情報】

<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>



【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

＜携帯サイト＞

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

テレビで、河川の水位・雨量の情報を入手できます。



NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す

TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す

「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

＜防災情報メール＞

touroku@osaka-bousai.net
地域に発令された警報・注意報、避難勧告などの防災情報メール
(空メールを送信してください)



＜川の防災情報＞

<http://i.river.go.jp/>
雨雲の動きや全国の川の水位

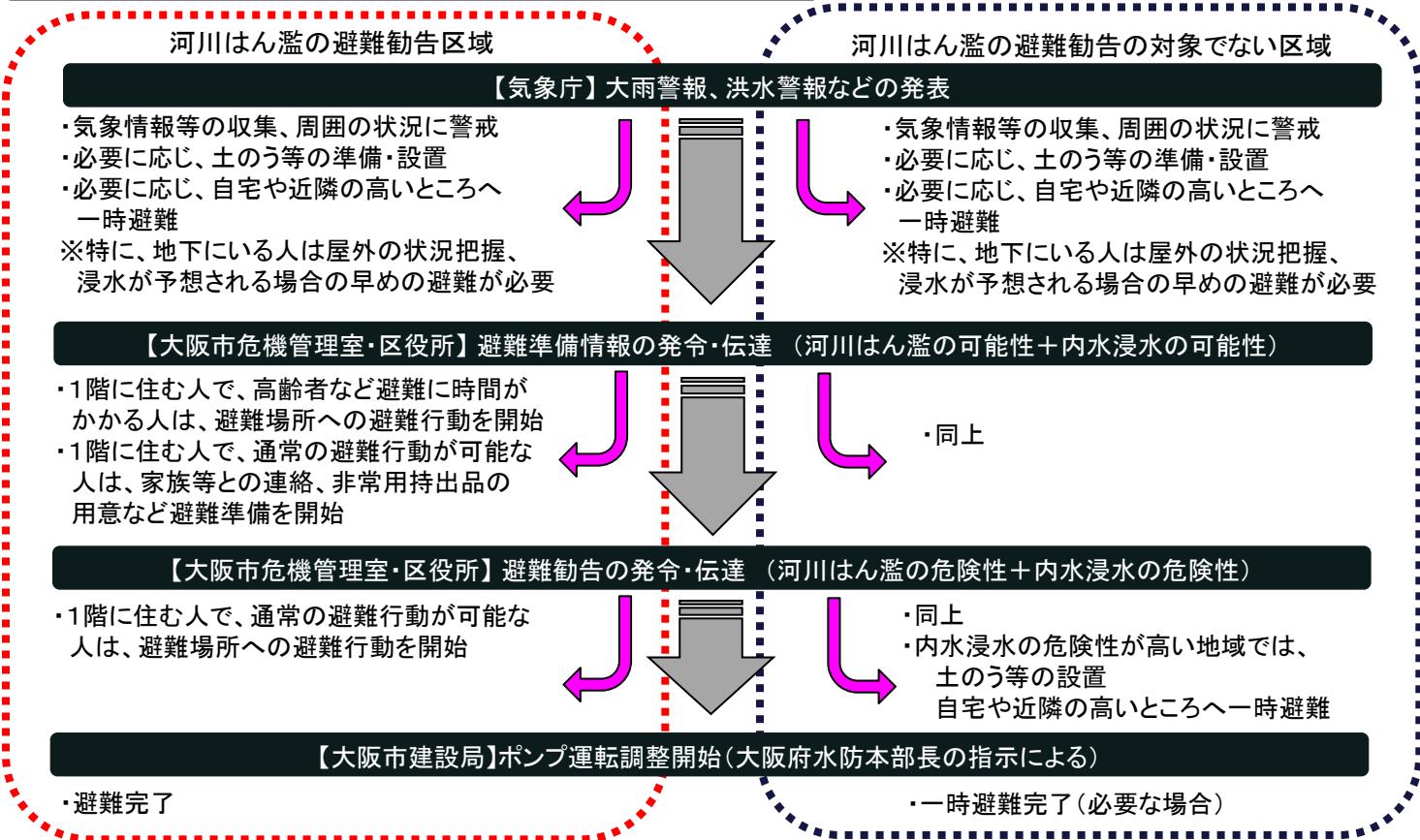


＜大阪府河川情報＞

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/mobile/>
身近な河川の水位や雨量の情報



■ 河川はん濫や内水浸水の危険性があるときにとるべき行動



■ 避難勧告の伝達手段

河川はん濫の避難勧告等は、防災行政無線(防災スピーカー)、緊急速報メール、大阪市ホームページ、ツイッター、おおさか防災ネット、テレビ・ラジオ、地元組織への連絡、広報車などにより伝達されます。

■ 普段からの備え

- いざという時に円滑に避難できるための準備
- ▶ テレビやホームページによる気象情報・防災情報を入手し、チェックしましょう。
 - ▶ 避難場所や避難経路は実際に歩いて確認しておきましょう。
 - ▶ 外への避難と2階以上への避難のどちらがよいかを考えておきましょう。

浸水被害を軽減するための準備、心がけ

- ▶ 浸水被害の原因につながる排水溝のゴミ等を定期的に掃除しましょう。
- ▶ 玄関や道路からの浸水を防ぐため、土のうを用意しましょう。
- ▶ 浸水に備えて、会社の設備、家電や貴重品は高所へ移動させましょう。
- ▶ 庭にはできるだけ土を残しておく。
- ▶ 大雨のときにはお風呂の水は流さない。
- ▶ 雨水はためて庭の水まきなどに使う。

雨どいから雨水を取り込んで貯留できる『雨水貯留タンク』の設置に対する「雨水貯留タンク普及促進助成制度」があります。

